

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 30日

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名:児童デイサービス マティーナ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			部屋の見通しが良い為、常に利用者さんを確認できる位置にいます。
	2 職員の配置数は適切である	10			有資格者もあり、配置数は満たせていると思います。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10			段差がないスロープがあります。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10			日々の活動の振り返り、ミーティング等、全体で振り返りの時間もあり、改善に繋がっている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			利用者さんだけの意見では保護者の方はどうなってほしいのかというのを全スタッフが確認出来るようにしてあり、話題に出して話し合いがある。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			インターネット上で掲載し公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10			今後検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			自主的に参加に対しても時間外手当で対応して、積極的参加を促している。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			利用者さんにどのような動きや学びが必要かを毎日見つけたことを放し、今後の働きに繋がるように計画している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			適切な情報を得る為に、適宜アセスメントシートの見直しを図っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10			担当に分かれてたき台を作り、意見を求めて修正しながら完成させている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			固定しないよう全員の意見をきいている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10			活動時間に合わせて療育内容を設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			活動内容をただこなすのではなく、利用者さんに応じてやりやすく工夫しながら行なう。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10			前日、最終打ち合わせをする事で企画書内の役割を確認出来ている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			朝、昼、夜でミーティングをしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			業務日誌に書き込むなど、今後も記録を残していく。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			出来るだけ全員の声聞けるようモニタリングを行なっている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10			ガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立てております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			最適者を選定して参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10			担任の先生に確認しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10			保護者を通して、担当医師と連携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10			必要に応じて関係機関との情報共有を行なっています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10			必要に応じて関係機関との情報共有を行なっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			必要に応じて連携を行い、助言を受けております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1		積極的な交流の機会はありませんが、お子さまやご家族のご要望を確認し、慎重に検討し段階的に機会を設けていきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10			代表が参加してその後、ミーティングで共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			現場スタッフが送迎を行なっています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10			必要に応じて行なっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			ご契約時に説明させていただいております。また、不明な点があれば随時職員が説明するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			電話対応など行なっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	1		今後行っていけるように準備を整えて参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			トラブルが起きた際は、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			毎月のマティナー通信で発信、伝達している。
	35	個人情報に十分注意している	10			個人情報保護マニュアルに基づき、適切に対応して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			必要に応じて個別に対応し、わかりやすくお伝えできるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10			もちつき、野菜の収穫などの機会を実施。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員間で適宜確認しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			定期的(年に2、3回)に行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			職員ミーティングにて内容のすり合わせをし、適切に対応できるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			同意書をとっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			周知徹底に努めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			記録をまとめておき、皆が見れるようにする。

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 30日

公表: 令和 6年 3月 31日

事業所名: 児童デイサービス マティーナ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			部屋の見通しが良い為、常に利用者さんを確認できる位置にいます。
	2	職員の配置数は適切である	10			有資格者もあり、配置数は満たせていると思います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			車椅子の子でも入りやすいようスロープが付いておりバリアフリーになっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10			毎日スタッフがフロアやトイレ等の掃除と消毒をしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10			日々の活動の振り返り、ミーティング等、全体で振り返りの時間もあり、改善に繋がっている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			スタッフ全員が保護者の意向を確認出来るようにしてある。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10			インターネット上で掲載し公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10			今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			適宜行なわれている。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10			全ての利用者についてモニタリング会議を実施している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			適切な情報を得る為に、適宜アセスメントシートの見直しを図っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10			適切な支援内容で組んでいる。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10			支援計画に沿った支援で組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			スタッフ全員で当たっている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			企画担当はスタッフ全員から意見を集めて工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10			両方のバランスを考慮して作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		毎日のミーティングで伝達、確認をしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			送迎時の保護者の様子を報告している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			夜ミーティングでの報告内容を議事録に保存している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10			全ての利用者についてモニタリング会議を実施している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			最適者を人選して参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			連携を取っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10			保護者を通して、担当医師と連携している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	10			保護者を通して、担当医師と連携している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			担当者会議を通して情報共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			送迎時に先生方と情報交換を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			必要に応じて行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	1		クリスマス会などの活動で実施。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10			毎回参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			ご家庭からは送迎時、電話・ライン等で情報共有や相談を受け付けている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10			必要に応じて行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			ご利用の際は説明をきちんと伝えている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			支援内容や計画について擦り合わせを行っている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			電話・ライン・面談など行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	1		今後行っていけるように準備を整えて参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			随時、電話・ライン・面談など行なっている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			毎月のマティーナ通信で発信、伝達している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			個人情報保護マニュアルに基づき、適切に対応して参ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			必要に応じて個別に対応し、わかりやすくお伝えできるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10			もちつき、野菜の収穫などの機会で実施。
非常	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員間で適宜確認しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			定期的(年に2、3回)に行なっている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10			アセスメントにて情報を確認している。

時 等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		周知徹底に努めている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		記録をまとめておき、皆が見れるようにする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		職員ミーティングにて内容のすり合わせをし、適切に対応できるようにしている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10		該当者がいません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。